

沖縄県立系満高等学校

校長 山城 芳則



学校長あいさつ

沖縄県立系満高等学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

昨年4月に第30代校長として赴任し、本年度で2年目を迎えました山城芳則と申します。

私は系満市の出身で、平成19年から25年までの7年間、本校に数学科教諭および野球部顧問として勤務いたしました。平成23年夏の甲子園大会で本校が初出場した際には、生徒とともに貴重な経験をさせていただきました。地元系満の学校に校長として再び戻り、教育に携われることを大変うれしく、光栄に感じております。

本校は、昭和21年1月、沖縄戦最後の激戦地であった系満の地に、郷土の復興を願い、若者の未来への夢と希望を育む学校として創設されました。今年度で創立81年目を迎える歴史と伝統ある学校であり、これまで約3万1千名余りの卒業生が県内外のさまざまな分野で活躍しています。

校訓「大望実践・自主分別・立命感動」のもと、「怒涛精神」「文武両道」を合言葉に、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に取り組んでいます。生徒たちは、学習活動をはじめ、部活動、学校行事、生徒会活動など、あらゆる場面で主体的・積極的に活動しています。

本校の目指す「文武両道」とは、『文』の力で『武』を磨き、『武』の力で『文』を磨くことです。学習で培った力と、部活動で育まれる心身のたくましさとの相乗効果を大切にしています。

令和7年度は、進路決定率が92.5%、国公立大学合格者数は33名、県内外私立大学135名、専門学校等に92名、就職15名等、進路実績において大きな成果を上げることができました。

部活動においては、体育系20、文化系10、同好会7の計37の活動があり、加入率は7割を超え、これまで野球部の甲子園大会出場をはじめ、ウエイトリフティング部、バドミントン部、バスケットボール部、ソフトテニス部、卓球部等多くの部が全国大会に出場してきました。令和7年度の県高等学校総合体育大会では、女子ソフトテニス部が団体優勝、男女バドミントン部が団体準優勝と健闘しました。また、文化系部活動でも、美術部、吹奏楽部、ダンス部など多くの実績と活躍があります。

今後も、地域に愛され、地域に信頼される学校を目指し、保護者、同窓生、地域の皆様と連携・協働しながら、生徒と教職員が一丸となって、より充実した教育活動を展開してまいります。

引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年4月吉日